

町田市庁舎跡地等検討委員会 委員会ニュース

第5号

2011年
9月

発行・町田市 編集・政策経営部企画政策課 企画政策課 042・724・2103
〒194-8520 東京都町田市中町 1-20-23
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>
・トップページ 市政情報欄の「本庁舎跡地利用」をクリック

■第5回町田市庁舎跡地等検討委員会を開催しました。

2011年8月2日（火）に第5回委員会を開催しました。第4回委員会の議論を踏まえた3つの賑わいの方向性を基に、跡地活用の考え方及び活用案の絞り込みについて検討を行いました。

＜第5回委員会資料の要点＞

基本的理念(案)

「新たな賑わいの創出」

「賑わい」の方向性

- ①日常的な来街者を増やす「賑わい」
- ②憩い・交流の場としての「賑わい」
- ③人や文化を育む拠点としての「賑わい」

跡地活用の基本方針

- 2つのステージに分けた整備
- 本庁舎跡地
 - ・賑わいづくりの中心となる「コア施設」とコア施設を補完する「付加施設」を整備する
- 中町第三庁舎跡地
 - ・既存庁舎を有効活用し、暫定的な活用を行う。隣地地権者との協議の後、恒久的な活用に向けた改築整備を行う。



▲第5回委員会の様子

＜第5回委員会の流れ＞

1. 第4回委員会議事要旨の確認
2. 他自治体の庁舎移転事例における周辺への影響
3. 跡地活用の方向性の検討
 - ・跡地活用の基本方針および跡地活用の考え方・活用案
 - ・本庁舎跡地および中町第三庁舎跡地の現況・配置イメージ等

跡地活用の考え方・活用案

| | 本庁舎跡地 | 中町第三庁舎跡地 |
|--------------------------------------|--|--|
| 第1 ステージ ※庁舎移転 当初の段階 | <ul style="list-style-type: none"> ● コア施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ A案：広場＋多世代交流施設 ・ B案：広場＋野外ステージ ・ C案：広場のみ整備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 既存庁舎の暫定利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ サテライトキャンパス ・ 企業支援施設 ・ 青少年の交流施設 |
| 第2 ステージ ※必要施設 の拡充・改修 の段階 | <ul style="list-style-type: none"> ● 付加施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 付加施設はそれぞれのコア施設を補完するような施設を追加で整備 ※付加施設は時代のニーズに合わせ、見直しを行う | <ul style="list-style-type: none"> ● 恒久的な活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ サテライトキャンパス ・ 起業支援施設 ・ 集会・イベント施設 ・ 青少年の交流施設 ・ バスターミナル |

活用の考え方や活用案の絞り込みについての検討

第5回委員会では、2つの庁舎跡地の具体的な活用の考え方や活用案について意見を交わし、跡地活用の考え方として基本的に2つのステージに分けた整備を行うこととしました。また、それぞれの活用案については、類似する案を整理した上で、絞り込みを行うこととしました。その他、委員会で挙げられた主な意見は下記のとおりです。

なお、次回、最終回である第6回委員会では、これまでの委員会の検討内容をまとめ、市への提言について検討を行います。



▲第5回委員会の様子

【本庁舎跡地についての意見】

- ・本庁舎の解体後は、掘り下げ部分を埋め戻すのか。現状は建物で擁壁を支えている可能性がある。地下部分を残すには費用や安全性確保の面から検証が必要である。
- ・第1ステージは5～10年とあるが、賑わいの形成を考えるともっと速やかに整備する必要がある。
- ・付加施設は、コア施設の整備前から設置するほうが良いのではないかと。
- ・いずれも本庁舎を解体する大掛かりな計画なので、時間や費用がかかることは仕方がないと思う。
- ・多世代交流施設は良いと思う。核家族化が進む中で、施設内で高齢者が若者に知恵を与えることができるとうい。
- ・野外ステージについて、小学校が隣接しているので騒音の問題を考える必要がある。
- ・民間の力を借りて施設をつくることもありえると思うが、そうすると一部公共施設が導入された高層マンションということになってしまう。それは避けるべきだと思う。
- ・本庁舎跡地に賑わいの拠点を設置した場合、歩行者の安全を確保しなければならない。本庁舎跡地の利用と交通問題を、総合的に検討していくべきである。また、交通問題については、交通マスタープランや都市マスタープランとの連携を考えるべきである。
- ・本庁舎跡地施設における運営を検討する場合は、市民と行政による合同検討組織を設置して、両者で企画・検討していくことが大切である。
- ・次回の委員会では、費用や工事方式についても出来るだけ明らかにしてほしい。
- ・新たな賑わいの創出を実現するための方向性を示すことがこの委員会の目的だと思う。

【中町第三庁舎跡地についての意見】

- ・町田市の中心市街地において若者が減ることは無いと思うが高齢者への配慮も必要である。
- ・中町第二庁舎の用地と一体にしてバスターミナルを整備しても、町3・4・33が整備されない限りバスルートの変更はできない。都市計画道路整備に併せた検討が必要である。

第6回委員会（最終回）を10月6日（木）18時30分から市役所本庁舎にて開催します。

○ 委員会の開催状況や資料をホームページに掲載していますので、併せてご覧ください。